

V. 特記事項

1. キャリアサポートとしての資格取得支援

本学は、就職支援（キャリアサポート）の一環として、学部在学中に国家資格である二級建築士並びに木造建築士の資格取得をサポートしている。一般的には、これら建築士の受験は、建築系の大学あるいは専門学校において卒業（国土交通省の定める科目を履修）することにより可能となる。本学では、平成25年にグループ校の「京都建築大学校(KASD)」の二部または特別の課程を併修するWスクールシステムを確立し、大学に在学しながらグループ校との連携による資格講座を1年次から2年間受講することで、建築士の受験資格取得を可能にした。具体的な、資格取得状況については基準2のキャリア支援で提示しているが、毎年多数の合格者を輩出している。

平成28(2016)年度から令和5(2023)年度までの合格者数累計は、二級建築士合格者数は、学科476名・製図276名、木造建築士合格者数は、学科442名・製図294名、さらに建築士の資格と関係の深いインテリアプランナーは、学科479名・製図36名が合格者した。

これらの資格取得は就職の際に企業からの高い評価を得ている。

2. 地域貢献活動

本学の地域貢献活動のひとつの柱としてあるのは、地域の伝統行事への参加協力である。令和6年度の実績としては、5月12日新日吉神宮神幸祭、5月19日下御霊神社還幸祭への参加があり、今後の予定としては祇園祭への参加がある。

これらは本学が京都の東山に立地しており地域の高齢化が進む中、本学学生が参加協力することで、伝統行事の継続の一助となっている。

また、芸術学部3年「プロジェクト演習Ⅲ」では「豊国神社干支オブジェ制作プロジェクト」で制作した干支オブジェを毎年奉納しており今回は「運山青昇龍」を12月22日に奉納した。

もうひとつの柱としては、地元自治体や企業との連携事業がある。

事例としては、京都市都市計画局による既存マンションを活用した若者・子育て世代の京都住まいを後押しする取り組みにおける広報ポスターの作成や、京都市行財政局と連携し市庁舎案内パンフレットを作成し、見学ツアーのガイドを行った。

また四条地下道アート展では、京都市内の芸術系大学を中心とした学生によるアートやデザインで京都の地下鉄駅を明るく活性化する継続事業で、本学は平成29(2017)年度から毎年参加している。